

# 神奈川大学

〒221-8686  
横浜市神奈川区六角橋  
3-27-1  
神奈川大学  
電気工学科同窓会

# 電気工学科同窓会

2001年6月 No.9

# 会報

## 平成12年度 通常総会開催

### 役員改選、事業計画及び予算承認

### 新会長に内形晃（昭和41年卒）氏に

### 今年度は7月28日(土)に60周年記念式典後に開催！

神奈川大学電気工学科同窓会役員 H12.6.25

卒業年	学内役員	役割	卒業年	学外役員	役割
昭和41年	三橋 正男	総務	昭和17年	小島 一男	顧問
昭和42年	米沢 養躬	会報	昭和24年	臼井 齊	顧問
昭和44年	穴田 哲夫	副会長	昭和33年	秋田 琢次	副会長
昭和47年	旗本 祥二	名簿	昭和37年	山口伊勢雄	総務
昭和48年	打田 一夫	名簿	昭和37年	渡辺 靖夫	総務
昭和49年	上岡 哲宜	名簿	昭和41年	内形 晃	会長
昭和58年	小松 隆	計務	昭和47年	大和田芳朗	監事
昭和59年	天沼 博	総務	昭和47年	松本 良一	総務
平成6年	土屋 健伸	総務	昭和48年	藤井 一司	総務
平成6年	平岡 隆晴	総務	昭和50年	小島 勇	総務
			昭和51年	橋本 晃邦	総務

平成11年度神奈川大学電気工学科同窓会収支

収入		支出	
会費 (終身会費×16名) (年会費×264名) (その他×9名)	1,056,500	通信費	609,980
預金利息	2,602	印刷費	130,448
前年度繰越金	3,736,442	卒業生記念品	160,818
収入合計	4,795,544	会合費	4,069
		D P E	5,145
		平成10年度懇親会赤字	25,000
		次年度繰越金	3,846,084
		支出合計	4,781,544

平成12年度神奈川大学電気工学科同窓会予算

収入		支出	
会費 (600名)	1,200,000	通信費	600,000
預金利息	2,600	印刷費	200,000
前年度繰越金	3,846,084	名簿整理費	80,000
収入合計	5,048,684	名簿印刷	1,500,000
		会議費	50,000
		卒業生記念品	180,000
		総会・懇親会予備費	100,000
		次年度繰越金	2,338,684
		支出合計	5,048,684

平成十二年度通常総会は、さる平成十二年六月二十五日(日)神奈川大学横浜キャンパスLUXホールで開催された。当日は約五十名の会員が集まり、平成十一年度の決算承認され、役員改選では、臼井齊会長と堤宏(総務)氏が辞任され新会長として内形晃氏(昭和四一年卒)、学内役員として打田一夫氏(昭和四八年卒)が選ばれました。また、平成十二年度の事業計画及び予算の議事案が原案どおり承認されました。

総会後は、在学中にお世話になった末武国弘先生を初め、辻野次郎丸先生、許瑞邦先生、中山明芳先生、米田征司先生、前田良夫元職員を交え懇親会が立食パーティの

形式で行われ、電気工学科を代表して主任の許瑞邦先生が現在の電気工学科の現状や平成十二年度からは時代のニーズに対応するためにコース制の導入や新三・四号館(仮称)への移転、また、平成十三年から電気電子情報工学科への学科名変更、そして、電気工学科設立六〇周年記念事業の検討がなされていることが報告されました。

平成十三年通常総会は七月二十八日(土)に六〇周年記念式典後に開催いたしますので皆様お誘いの上、御参加ください。新しくなった横浜キャンパス(一部工事中)をぜひ見に来て下さい。施設の見学も予定しております。

# 報工学科としてスタート



ベイ・ブリッジから横浜駅方面を撮影 (新1号館屋上から2001年3月2日)

## 電気電子情報工学科の近況

電気工学科は、本年四月に電気電子情報工学科に科名変更を行いました。三月に渡部尚三先生・松永公秀職員が退職され、四月から山口栄雄先生・呉勇周先生・佐々木孝雄職員がスタッフとして加入されました。また、横浜キャンパスでは再開発事業が進行中。現在、旧一・三・四号館の解体作業に入っています (平成十三年度終了予定)。電気電子情報工学科は本年一月に二三号館六階を中心に引越しを行いました。平成十三年度のスタッフと引越し先の部屋番号は左の表をごらん下さい。



グラウンドから23号館を



新1号館屋上から23号館を



正門から新1号館を



22号館 (人間科学棟) を



12号館から歩道橋 (神大橋) を



# 21世紀, 電気電子情報



平成13年度神奈川大学電気電子情報工学科スタッフ

氏名	職名	居室番号	氏名	職名	研究室番号
穴田 哲夫	教授	23号館5階513	大出 英長	技術職員	23号館6階609
猪野 朋	専任講師	23号館5階512			23号館6階610
遠藤 信行	教授	23号館5階515	土屋 健伸	助手	23号館6階608
大野 吉弘	教授	23号館6階627	米田 征司	助手	23号館6階628
木下 宏	助教授	23号館6階626	広田 賢一	技術職員	23号館6階623
許 瑞邦	教授	23号館7階708	平岡 隆晴	助手	23号館6階601
齊藤 隆健	教授	23号館6階614	小松 隆助	助手	23号館6階618
新島 新二	教授	23号館6階613	新保 英毅	助手	23号館6階617
高橋 邦夫	教授	23号館6階624	竹内 茂	技術職員	23号館6階612
辻野 次郎	助教授	23号館6階705	天沼 博	技術職員	23号館6階621
豊嶋 久道	助教授	23号館6階625	上岡 哲宜	技術職員	23号館6階604
中能 明芳	教授	23号館7階707	佐々木 孝雄	嘱託職員	23号館6階622
平手 正人	専任講師	23号館6階616	阿部 晋		23号館6階619
山口 孝士	教授	23号館7階706	佐藤 知正	助手	23号館6階603
渡邊 栄雄	助教授	23号館5階511	岩村 保雄	助手	23号館6階630
渡部 良男	教授	23号館5階514			23号館6階611
呉 勇周	特任講師	6号館3階306			

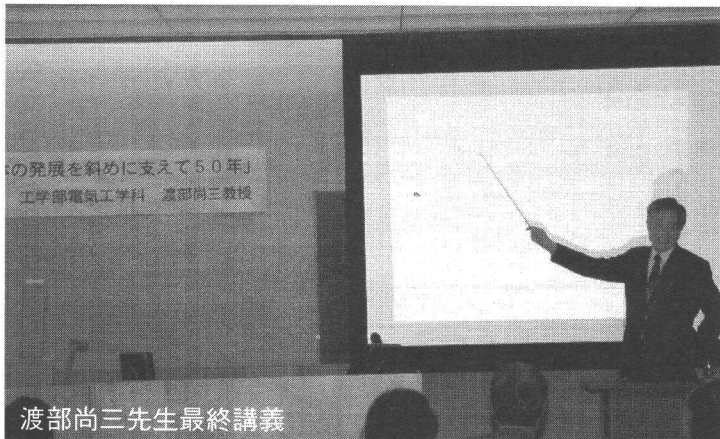
### 神奈川大学横浜キャンパス 校舎配置図



神奈川大学ホームページ  
<http://www.kanagawa-u.ac.jp/>  
 電気電子情報工学科ホームページ  
<http://www.ee.kanagawa-u.ac.jp/>

さる、一月二七日土曜日、渡部尚三先生の最終講義「半導体の発展を斜めに支えて五〇年」が行われた。当日は積雪十六センチという三年ぶりの大雪というあいにくの天気だったが学内の先生方や研究室のOBの方々がお見えになった。渡部先生は東大ご卒業後、日本電信電話公社の研究所、その後、ソニー中央研究所に入所、学位を取られ、平成元年に神奈川大学電気工学科にいられました。最終講義ではそれぞれの研究所・大学での研究の内容を、また授業で行なっているホール効果での電子の移動を分かりやすくパソコンを使って説明した戴いた。

渡部先生の益々のご活躍を期待し、これからもご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



私は、四六年前に電気工学科を卒業しました。当然のことながら、その頃の記憶は薄らいでしまいましたが、魅了させられた講義は今も鮮明に覚えています。それは、渡邊寧先生の「自動制御」で、講義時間があつという間に過ぎてしまうのが、ひどく残念でした。次はどのように展開していくのか、とても待ち遠しく感じたものです。未だに当時の色あせたノートが捨て難く、手元に残っています。また、宇田新太郎先生が、本学電気工学科に教授として着任される以前、昭和二〇年代にマグネトロン開発に関する、革新性のある講義をされましたが、これも魅了させられた講義の一つでした。卒業研究は、電気試験所出身の長尾重夫先生の研究室に所属し、卒業後は電気試験所に入所しました。入所後の配属は応用数学課で、後藤所長の愛弟子である駒宮博士のところで、電子計算機の研究をすることになりました。大学で履修した科目で関係のあるものは「真空管工学」ぐらいで、当時デジタルという世界を意識したことはありませんでしたので、私にとっては、極端な言い方をすれば新しい世界に入ったという気さえしたものです。その頃の計算機は、プログラム可能な電卓のような機能しかありませんでしたから、今から考えると「おもしろ」に近いものと言ったほうが良いかもしれません。しかし、そのような計算機を活用して、気象庁と共同で台風進路予想を実現・実行させようと真剣に検討したのです。思い返すと笑い出してしまうような、ずいぶんと無謀な考えでしたが、反面、何かと希望にあふれた時代でもありました。その後、昭和五〇年四月に神奈川大学に移りまして、以来二五年間お世話になっております。昭和五〇年頃は、東京大学の大型計算機センターは共同研究利用が可能でしたので、本学工学研究所にリモートパッチステーションを設置し、研究利用をおこなっていました。その後まな

く、研究教育利用の中でも、教育利用の必要性を強く感じ、大型機センターでは教育利用は困難であるため、本学にも情報処理センターを設置しようという気運が高まりました。完成したセンターは、近隣私大を凌ぐ画期的なもので、情報処理教育に大きく一歩踏み出したものでした。特に、電気工学実験にも利用し、当時としては最新の教育を行いかと思っております。しかし、このセンターも設置から運営まで、すべてが順調に進められたわけではありませんでした。大小さまざまな問題を克服しながら現在のセンターがあるわけですが、とりわけ、設置については、



神奈川大学の思い出  
高橋邦夫 (神奈川大学教授)

いわば電気工学科が推進役といえますが、主体となり、一体となって設置しようなものです。そこには、電気工学科に在籍されておられた三宝(故人)・森山・末武・辻野・許先生方の大きな力があって初めて可能になったと申ししても、過言ではないでしょう。基本計画につきましては、許先生と小生が作成・実施しましたが、実際に運営に入ってもさまざま困難がありました。その一つが人員不足で、とにかく大変苦労しましたが、幸い、電気工学科職員の天沼氏の能力と機動力によって急場をしのぐこともしばしばでした。このように私にとりましても、非常に思い

深い情報処理センターですが、設立当時からみますと、日進月歩のコンピュータの世界に対応するために、大きく変化してきています。設置十年後には、コンピュータの高性能化により、研究利用に関してはセンターに依存せず、研究室が独自に行えるようになりました。したがってセンターの主体も「研究」から「教育」へと変わっていききました。そこで平成三年に、教育内容・環境の抜本的な見直しをいたしました。その後さらに改革を重ね、現在ではパソコンを七百台設置した八教室となり、「二時代にも対応できるように」なりました。このように、時代とともに進化を遂げていくことは非常に重要なことであり、これからもより発展していくことを願っております。末筆になりましたが、教育研究について二十年間協力していただきました天沼氏の努力についても記しておきます。

会員情報

謹んでお悔やみ申し上げます

- 小林 次雄殿 (昭和十六年卒)
- 野口 正徳殿 (昭和十六年卒)
- 坂脇 重次殿 (昭和十八年卒)
- 中島 久夫殿 (昭和十八年卒)
- 吉田 久生殿 (昭和十八年卒)
- 原口 正敏殿 (昭和十九年卒)
- 溝口 寿茂殿 (昭和十九年卒)
- 大隅 康嗣殿 (昭和二十年卒)
- 中田 實殿 (昭和二十年卒)
- 長谷川 武久殿 (昭和二十七年卒)
- 三好 尚文殿 (昭和三十一年卒)
- 上条 隆雄殿 (昭和三十一年卒)
- 中田 恵久殿 (昭和三十三年卒)
- 西川 喜千蔵殿 (昭和三十三年卒)
- 遠藤 孝夫殿 (昭和三十六年卒)

同窓会からのお知らせとお願い

・会費の払い込みについて  
平成十三年度会費を同封の払込用紙で郵便振替口座(〇〇二〇一八四二八五)にお振り込みください。年会費二千元、終身会費三万円、その際卒業年月、一部・二部・短大・大学院を必ずご記入ください。本同窓会は大学の同窓会であり(社)宮陵会とは別組織となっております。その点をご理解して戴き会費の納入をお願いいたします。

・現住所等の連絡について  
住所変更がありましたらハガキ、FAX (045-491-7915)、Email: u215aman@cc.kanagawa-u.ac.jp または払込の際に通信欄にてお知らせください。電気工学科同窓会会員の住所は(社)宮陵会のデータに基づいておりますので住所変更等の連絡は、どちらかにしていただければ結構です。また、会員皆様の御意見、御要望、近況をお待ちしております。今後とも会員皆様の御支援の程よろしくお願い致します。

・役員・クラス委員・支部長の推薦のお願い  
同窓会では役員、支部長(北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)、クラス(年度)委員の推薦をお願いしております。自薦、他薦いずれでも結構です。連絡をお待ちしております。

- クラス(年度)委員
- 昭和三十年卒 山崎 久雄
- 〒252-1103 神奈川県綾瀬市深谷3447-1
- 昭和三十三年卒 後藤 義則
- 〒231-0865 横浜市中区北方町2-28
- 昭和三十四年卒 石丸 義弘
- 〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘35-3
- 昭和三十六年卒 綿貫 健児
- 〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-411-16
- 昭和三十三年卒 遠田 隆三
- 〒253-0025 神奈川県茅ヶ崎市松ヶ丘5-4-18
- 昭和四十七年卒 松本 良一
- 〒251-0038 神奈川県藤沢市鶴沼松が岡4-13-